

平成 27 年 6 月 26 日

中央労働災害防止協会
教育推進部長 角元利彦
【照会先】
総務部 上席専門役 間宮直樹
(電話) 03-3452-6542 (FAX) 03-3452-9225
E-mail koho@jisha.or.jp

ゼロ災小集団活動

トップセミナー

9月2日(水)～3日(木)・京都

1 中災防・ゼロ災小集団活動トップセミナーの開催について

中央労働災害防止協会（中災防）は、40年間以上にわたりゼロ災害全員参加運動（ゼロ災運動）を提唱してまいりました。

ゼロ災運動では、労働災害の発生と深くかかわりのあるヒューマンエラー、職場の人間関係や職場風土づくりなどの「人間」の側の問題に着目し、「集団」「組織」「経営」へのアプローチやその問題解決についてのノウハウを蓄積してまいりました。

こうしたノウハウを経営トップの方々に体験していただくとともに、労働災害防止にはそうした方々の積極的な取組みが重要であることから『ゼロ災小集団活動・トップセミナー』を京都市で開催することとしました。

2 ゼロ災小集団活動トップセミナーの特色

(1) 職場を変えるために、トップ層がすべきノウハウを学べます。

- ① 活発なコミュニケーションが生み出す明るく、事故・災害ゼロの職場づくりのノウハウ
- ② 労働災害防止、安全作業のための適切な作業指示、KY(危険予知)活動を進めるノウハウ
- ③ 危険作業を洗い出し、安全作業につなげる手順書の整備のノウハウ

(2) チーム(小集団)による参加型、体験型のプログラム構成

- ① 職場実践するヒューマンエラー事故防止活動の推進は、経営トップ層の理解が重要であることから「手法の体験学習が主体」
- ② チーム(10人程度)ごとに実技を進める
- ③ 各チームには経験豊富なコーディネーターが付き、参加者の疑問に答える

(3) 特別講演

「とっさの判断が生死をわける ～決断できるリーダーの育て方～(仮題)」

高野 甲子雄((公財)原子力安全研究協会 放射線災害医療研究所 副所長)

(裏面に続く)

ゼロ災小集団活動・トップセミナープログラム概要

日 時：平成 27 年 9 月 2 日（水）～3 日（木）
会 場：グランドプリンスホテル京都（京都市左京区宝ヶ池）
定 員：80 名

【 9 月 2 日（水）】（第 1 日目）

講 話：「経営トップに望むこと」
関澤 秀哲
中央労働災害防止協会 理事長

講 義：「魅力的な企業をめざして」

実 技：問題解決 4 ラウンド法

討 議：各社情報交流

情報交換：全体交流会

【 9 月 3 日（木）】（第 2 日目）

特別講演：「とっさの判断が生死をわける

～決断できるリーダーの育て方～（仮題）」

高野 甲子雄（（公財）原子力安全研究協会 放射線災害医療研究所 副所長）

実 技：・ 始業時のポイント・健康問いかけ K Y

・ K Y T 基礎 4 ラウンド法


・ 交通基礎 4 ラウンド法

・ 実践 K Y 活動への展開

・ 問いかけ K Y

解 説：ゼロ災運動を提唱している企業の安全衛生と O S H M S と職場風土を
耕す K Y T の導入から定着まで

【詳細は W e b でご確認ください。】

中災防 ゼロ災トップセミナー で **検索** 

中央労働災害防止協会のトップページからも詳細がご覧いただけます。

<http://www.jisha.or.jp/>



中災防は、昭和 39 年に労働災害防止団体法に基づき設立された団体
で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の
育成、安全衛生の専門技術の提供および最新安全衛生情報の提供などの
安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

会 長：榊原 定征（日本経済団体連合会会長）

理事長：関澤 秀哲